

第1号様式（第5条関係）

戸田市市民活動サポート補助金応募用紙 (~~2~~・10じつ)

(宛先)  
戸田市長

平成28年 4月 18日

団体名 特定非営利活動法人グリーンガーディアンズ  
 代表者氏名 菅 信利  
 代表者住所 [REDACTED]  
 代表者連絡先 [REDACTED]

コース	<del>2 (に) のこりコース</del>	<u>10 (じゅう) じつコース</u>
事業名	ホントだ！体験倶楽部 (たいけんくらぶ)	
補助年数	1年目	2年目 <u>3年目</u>
実施期間	2016年 5月 1日 ~	2017年 2月 28日
事業総額	780,000円	
補助対象経費	767,000円	
補助金申請額	383,500円	
確定前交付の希望	<u>希望する</u>	希望しない
実施場所	戸田市内 公園 企業内	
対象者	戸田市民 および 近隣市民	
申請中又は交付予定の補助制度	名称	
	実施主体	

《団体の概要》

団体名	特定非営利活動法人 グリーンガーディアンズ (NPO)	
代表者	氏名	管 信利
	住所	████████████████████
	電話	██████████
	e-mail	████████████████████
連絡担当者	氏名	管 信利
	住所	████████████████████
	電話	██████████
	e-mail	████████████████████
ホームページ	<a href="http://green-guardians.org/">http://green-guardians.org/</a>	
設立年月日	2012年 10月 12日 設立	
会員数	12人	
年会費	<p>(1) 正会員</p> <p>① 入会金 0円</p> <p>② 年会費 2,000円(1年分) 学生1,000円</p> <p>(2) 賛助会員</p> <p>① 入会金 0円</p> <p>② 年会費 個人 5,000円(1年分)</p> <p>法人 100,000円</p>	
団体の目的	<p>現在、個々として環境教育、被災地支援、森林評価等の事業に携わっております。これらの活動をつなぎ、各々のメンバーが横に連携をとり、情報手法を共有することで、新たな活動を展開しています。</p> <p>昨年度は、戸田市、インドネシアにて活動を行ってきました。それらの活動による新たなつながりは、今年度は他の団体との協働事業のきっかけとなりました。それらの団体との協働により広報・事業協力等、戸田市内で更に広めることが可能となり、さらなる市内での環境活動の実践を行うことを目的とします。</p>	
主な活動実績	<p><b>戸田市グリーンウェイブ</b></p> <p>5月22日の生物多様性の日に合わせ、埼玉オフセットにおいて、戸田こども園の園児と共にヤマザクラを1本植樹した。</p> <p><b>ソーラークッカー体験</b></p> <p>5月31日、彩湖道満グリーンパークにおいて、ソーラークッキングの専門家、環境教育の専門家2名を招聘し、ワークショップを開催。</p> <p><b>植物寄せ植えワークショップ①</b></p> <p>6月14日、戸田市役所内において行われた戸田朝市において、NPO団体としては初</p>	

	<p>めでの参加。ブースを設営し、寄せ植えのワークショップを開催</p> <p><b>植物寄せ植えワークショップ②・ボサノバ演奏</b></p> <p>10月17日、戸田競艇場で行われたふらっと広場TOMATOにて、ブースを設け、寄せ植えのワークショップを開催。参加者に緑の必要性を理解してもらう活動をおこなう。会場ではボサノバ演奏を行った。</p> <p><b>カメラワークショップ</b></p> <p>植物を撮ろう：11月8日、公園緑地公社にてアマチュアカメラマンを講師として呼び、カメラの使い方を学び、植物を撮るワークショップを行った。当日は雨天のため公園での撮影ではなく室内においてワークショップとなった。</p> <p><b>みどりの調査隊：</b></p> <p>12月13日、岩手県立大学の植物生態学教授を講師として招聘。植物の不思議について学んだあと、当団体で作成した戸田市内の公園の植物のマッピングソフトを利用し、後谷公園を調査。東京農業大学の学生に植物のアシスタントとして参加を依頼。</p>
<p>昨年度の補助金等の援助状況</p>	<p>戸田市市民活動サポート補助金 ¥200,000円</p>
<p>団体PRなど</p>	

※別紙での提出可

## 《事業計画書》

### 1 事業名

ホンとだ！体験倶楽部（たいけんくらぶ）

### 2 事業の目的

新たに市・公社・団体とのつながりができ、事業を協働することで市全体に活動の幅を広げる準備ができ、多くの市民への呼びかけと活動が可能となった。これを機に、市全体で「みどり」をキーワードとした活動を行い、持続的な市民活動へつなげる基礎をつくることを目的とする。

### 3 具体的内容

昨年人気のあったワークショップを今年も継続して計画し、活動の継続を図る。

#### ○以下継続プログラム

グリーンウェイブ2016 5/22開催予定

世界規模の植林活動イベント（株式会社埼京オフセット、戸田こども園と協働。東京農業大学学生参加）

#### ●みどり調査隊 全18回

戸田市内を数か所の地区に分けて地区の住民による緑MAPを作成します。樹木を自分たちの手で調べ、地区の手作りマップを作成するワークショップを行います。また、「戸田歴史ガイド」と協働し、緑だけではなく、歴史も学ぶワークショップとすることを考えております。（戸田市みどり公園協力、東京農業大学学生参加）

#### ●ソーラークッキングを使いエコクッキング

6/26 道満グリーンパークにて開催予定

ソーラークッキング調理器を利用した料理体験を行います。（戸田市水と緑の公社・東京農業大学学生参加）

#### ●植物の寄せ植えワークショップ

昨年同様、戸田市地域福祉祭・および戸田朝市においてブース設置、寄植教室を開催する。（東京農業大学学生参加）

#### ●戸田の自然を撮ろう！

昨年、1度開催し、好評を得た企画を2度、季節の良い時期に開催する。場所：道満グリーンパーク 自然の事を学び、カメラの使い方を学び、撮影をする。「カメラの使い方がわからない」といった初心者向けの講座 撮り方教室→公園の案内説明→園内を撮影→写真コンテスト！（講師：アマチュアカメラマン、戸田市水と緑の公社）

○新規プログラム

●ペルセウス流星群を見よう 8/12

彩湖自然学習センターにて、ペルセウス流星群を観察する講座を親子で募集。その説明は、「星空案内人とだ」に依頼する。場所は彩湖自然学習センター屋上。打ち合わせ済み。

●戸田の土器を観察しよう

土器には過去の種子の痕跡が、その表面にあります。その表面にシリコンを押し当て、その種の痕跡を見つけ、同定する手法があり、その手法をワークショップとします。種の痕跡を同定できる講師は戸田市の会社の職員に依頼、了承済み。

参加者は、体験プログラムを通じ戸田の色々なことができる場所を再認識してもらい、グローバルな視点での自然環境のあり方、生物多様性のあり方を認識し、自然環境に対する新たな視点を持つことができる。

「みどり調査隊」は、地区ごとでの活動を重視することにより、地区の財産である緑地のことを、その地区に住む市民がよく知ることができる。この活動により、地区の公園等のことをより知ることができる。そこから、災害時の震災等の避難場所、避難経路を再確認、地域の協力をよりスムーズに行うことができることも考えられる。

また、戸田の樹木情報をまとめ、データベース化し、webに乗せ情報発信することで、戸田市民が市内の樹木の見ごろなどを手軽に知ることのできるシステムを構築できるほか、手作りMAPをまとめ、誰もが戸田の緑の情報を容易に知ることができる手法をつくることことができる。

#### 4 事業実施のスケジュール

月日	内 容
月に2度	みどりの調査隊 (18回)
5月22日	グリーンウェイブ
6月26日	ソーラークッキング
6月か10月	戸田の自然を撮ろう!!
9月10月12月	寄せ植え教室 (朝市2回・ふらっと広場 他)
8月12日	ペルセウス流星群を見よう!
9月	戸田の土器を観察しよう

5 事業に携わる人数・団体など

みどり調査隊 (18回) : 東京農業大学大学生 36名、戸田歴史ガイド10名、当スタッフ 18名 招聘講師 3名 協力 : 東京農業大学植物サークル  
グリーンウェイブ (1回) : 当スタッフ 1名 協力 : 埼玉オフセット株式会社、戸田こども園  
ソーラークッキング (1回) : 講師 3名、大学生スタッフ 2名、当スタッフ 1名 協力 : 戸田市水と緑の公社  
戸田の自然を撮ろう (1回) : 講師 1名、当スタッフ 1名 協力 : 戸田市水と緑の公社  
寄せ植え教室 (3回) : 当スタッフ 3名、大学生スタッフ 6名 協力 : 戸田市ボランティア・市民活動支援センター、戸田マルシェ  
ペルセウス流星群を見よう (1回) : 当スタッフ 1名、大学生スタッフ 2名、星空案内人とだスタッフ 6名 協力 : 彩湖自然学習センター  
戸田の土器を観察しよう (1回) : 当スタッフ 1名 大学生スタッフ 2名、株式会社パレオスタッフ 1名

6 事業実施の際に予想される課題

事業も3年目になるが、毎年の課題が公募による募集である。  
その対応として、今年度は、昨年好評であった事業を選択し、市民の参加を積極的に募る。  
また、新たな団体とのコラボレーションにより、他団体からの公募も行ってもらい、公募の窓口を広げる。

7 事業の成果目標 (具体的数値を用いてください。)

参加人数、緑の調査隊は5人 寄せ植え教室は20名、他ワークショップは各10名以上を目的とする。

8 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

過去の活動の実績を生かし、他団体の助成金を取得するほか、自己活動資金を得るための、講座などを開催する。

《収支予算書》

【収入】

(円)

科目		予算額 ①	内訳
補助金・助成金	市民活動サポート	¥383,500	
	その他	¥0	
自己資金		¥376,500	
会費		¥0	
利用者負担金		¥20,000	500円/人×40人
協賛金・寄附		¥0	
その他			
合計		¥780,000	

【支出】

(円)

	科目	予算額	補助申請額	自主財源	内訳
補助対象経費	保険料	¥24,000	¥12,000	¥12,000	1000円/回 24講座
	委託費	¥30,000	¥15,000	¥15,000	作業代30000円
	消耗品費	¥114,000	¥57,000	¥57,000	寄せ植え苗、土、鉢 30000円 ブルーシート4000円 イベント食材料料費3000円 文具代 10000円 圧着分析用材料65000
	謝礼金	¥566,000	¥283,000	¥283,000	職員¥10000/1日×25人 講師¥10000/1日×4人 特別講師¥8000/h×7h 補助¥5000/日×44人
	備品費	¥30,000	¥15,000	¥15,000	実態顕微鏡30000円×1
	賃貸料	¥3,000	¥1,500	¥1,500	トマピーレンタル3000円
			¥0	¥0	¥0
小計		¥767,000	¥383,500	¥383,500	
補助対象外経費	食糧費	¥13,000	—	¥13,000	18回×500円
		¥0	—	¥0	
		¥0	—	¥0	
		¥0	—	¥0	
小計		¥13,000	—	¥13,000	
合計		¥780,000	¥383,500	¥396,500	